

光厳天皇全歌集総索引（2）

浅井伸一編

The Index of the Emperor Kōgon's Tanka Poetry (2)

ASAI Shinichi

この総索引は、「歌語索引」、「詞書、判詞索引」からなり、光厳天皇の言語表現の総体を窺うに利便を図ったものである。「歌語索引」は「光厳天皇全歌集総索引（1）」として、すでに『人間環境論集3』（2004年6月）に掲載したが、これはその続編である。

凡例

- 1, 本文は常照皇寺発行『光厳天皇遺芳（昭和三十九年八月刊）』に収録する、国枝利久編「光厳天皇全歌集」によった。
- 2, 単語を見出し語とすることを原則とするが、句として示す方が便利と思われるときには句をそのままに示した。
- 3, 歌題は出来る限りひとまとまりとして示した。
- 4, 歌番号は、すべて上記の本文のものだが、勅撰集、私撰集、歌合に収められたもので、『新編国歌大観』に収録されたものは、その集名とその歌番号をも続けて付記した。末尾の〈 〉の歌番号は重出箇所を示している。略称、正称は以下の通りである。

風雅	風雅和歌集
新千	新千載和歌集
新拾	新拾遺和歌集
新後拾	新後拾遺和歌集
新続古	新続古今和歌集
臨永	臨永和歌集
藤葉	藤葉和歌集
三六	三十六番歌合
院六	康永二年院六歌合

平成17年11月8日

大阪産業大学 人間環境学部

詞書・判詞索引

〈あ〉

- あかつき(暁) 136, 「雑暁」「冬暁」
あかつきによするこひ(寄暁恋) 112,
あかつきのゆき(暁雪) 72,
あき(秋) 37, 224新拾351, 231新拾1586, 「早涼知秋」
あきのうた(秋歌) 176風雅646,
あきのくも(秋雲) 272三六33(34),
あきのゆふべ(秋夕) 38,
あけぼの(曙)「冬曙」
あけぼののゆき(曙雪) 73,
あした(朝)「冬朝」
あしたにみるはな(朝見花) 255,
あしたによするこひ(寄朝恋) 113,
あしたのしぐれ(朝時雨) 251藤葉295,
あしたのゆき(朝雪) 74,
あつし(暑し)
あつき(連体) 158,
あはぬこひ(不逢恋) 95,
あふ(合ふ) 自ハ四
あは(未然) 252藤葉351,
あまり(余り) 274三六59(60),
あめ(雨)「夏雨」
あめによするこひ(寄雨恋) 116,
あめのちのゆき(雨後雪) 77,
あやまる(誤る) 自ラ四
あやまり(連用) 270三六7(8),
あられ(霰) 68,
あり(有り) 自ラ変
あり(連用) 216新千2236, 271三六(17) 18, 272三六33(34), 273三六37(38), 273三六37(38),
あんらくぎゃうぼん(安楽行品)「妙法蓮華經安楽行品」

〈い〉

- いうしきはまらず(幽思不窮) 268,
いかなり(如何なり) 形容動詞
いかなり(連用) 209新千1605,
いけのうへのふぢ(池上藤) 198新千178,
いづ(出づ) 自ダ下二 「月出山」
いつはるこひ(偽恋) 99,
いと(甚) 副詞 274三六59(60),
いぬによするこひ(寄犬恋) 125,

いふ(言ふ) 自ハ四

いふ(終止—連体) 202新千379, 213新千1839, 223新拾310, 251藤葉295, 252藤葉351, 273三六37(38),

いへ(已然) 198新千178, 199新千197, 200新千311, 201新千326, 208新千1379,

いへ(家)「田家雪」

いやし(賤し)

いやしき(連体) 270三六7(8),

〈う〉

う(得) 他ア下二 「纒得重陽之冷輝」

え(未然) 274三六59(60),

うかぶ(浮かぶ) 自バ四

うかび(連用) 270三六7(8),

うぐひす(鶯) 2,

うた(歌) 200新千311, 205新千1150, 218新拾73, 223新拾310, 228新拾1145, 229新拾1356, 237新後拾259, 238新後拾758, 239新後拾908, 241新後拾1419, 243新続古345, 244新続古635, 「秋歌」「恋歌」「雑歌」「春歌」「左歌」「冬歌」「右歌」

うへ(上)「池上藤」「左道之上」

うみべのてうばう(海辺眺望) 269,

うめ(梅) 3,

うらのゆき(浦雪) 80,

うらみ(恨)「怨恨」

うらむ(恨む) 他マ上二

うらむ(終止)「恨絶恋」

うらむこひ(恨恋) 101,

うれしがほ(嬉し顔) 271三六18(17),

〈え〉

えいふくもんいん(永福門院) 204新千904,

〈お〉

おかし

おかしく(連用) 272三六33(34),

おちば(落葉) 45,

おなじ(同じ)

おなじく(連用) 254藤葉424,

おなじ(終止—連体) 205新千1150, 227新拾609, 249藤葉125, 250藤葉229,

おぼしめしいづ(思し召し出づ)

おほしめしいで(連用)204新千904,
 おほゆ(覚ゆ)自ヤ下二
 おぼえ(連用)271三六18(17),
 おほんうた(御歌)200新千311, 217新拾2,
 220新拾161, 222新拾249, 224新拾
 351, 228新拾1145, 229新拾1356, 230
 新拾1544, 231新拾1586,
 おほんかへし(御返し)233新拾1811,
 おほんくよう(御供養)216新千2236,
 おほんこと(御事)204新千904,
 おほんぶつじ(御仏事)216新千2236,
 おもしろし(面白し)
 おもしろき(連体)160,
 おもふ(思ふ)自ハ四
 おもふ(終止—連体)272三六33(34),

〈か〉
 か(彼)203新千430,
 か 係助詞 209新千1605,
 が(賀)「紅葉賀」
 かうじ(講師)273三六37(38),
 かうず(講ず)他ザ下二
 かうぜ(未然)198新千178, 201新千326,
 202新千379, 205新千1150, 250藤葉
 229,
 かうりゃう(荒涼)275三六69(70),
 かがみによするこひ(寄鏡恋)130,
 かきあやまつ(書き過つ)他タ四
 かきあやまち(連用)274三六59(60),
 かげ(影)272三六33(34),
 かすみ(霞)1, 166風雅20,
 かぜ(風)200新千311, 「冬風」
 かぜによするこひ(寄風恋)115,
 かぜのまへのゆき(風前雪)75,
 かし(勝ち)271三六18(17), 274三六59(60),
 275三六18(17),
 かちのじ(勝字)270三六7(8), 273三六
 37(38),
 かは(河)138, 194風雅2112, 「竹河」
 かへるかり(帰雁)218新拾73,
 かり(雁)「帰雁」
 かん(感)273三六37(38),
 かんきよのゆき(閑居雪)84,
 かんしょく(寒色)273三六37(38),

〈き〉
 き 助動詞
 し(連体)215新千1987, 244新続古635,
 250藤葉229, 271三六18(17),
 きく(菊)40,
 きく(聞く)自カ四 「夕聞郭公」
 きこゆ(聞こゆ)自ヤ下二
 きこえ(連用)272三六33(34),
 きはまる(窮る)自ラ四 「幽思不窮」
 きんぱうはうらく(謹奉法楽)278,

〈く〉
 くさ(草)「冬草」
 くどくほん(功德品)「妙法蓮華経法師功德品」
 くも(雲)「冬雲」「秋雲」
 くる(暮る)自ラ下二
 くるる(連体)248藤葉88,
 くわいきゅう(懐旧)152, 「雪中懐旧」
 くわじつ(華実)270三六7(8),
 くわんおうぐわんねん(観応元年)198新千
 178,

〈け〉
 けいき(景気)270三六7(8),
 けう(興)271三六18(17), 273三六37(38),
 「山家春興」
 けうかん(興感)270三六7(8),
 けしき(景色)272三六33(34),
 けだもの(獣)「雪中獣」「恋獣」
 けぶり(煙)「雑煙」
 けぶりによするこひ(寄煙恋)118, 254藤葉
 424,
 けり 助動詞
 ける(連体)184風雅1252, 198新千178,
 199新千197, 200新千311, 201新千
 326, 201新千326, 202新千379, 202新
 千379, 204新千904, 205新千1150,
 205新千1150, 205新千1150, 208新千
 1379, 209新千1605, 209新千1605,
 213新千1839, 214新千1887, 215新千
 1987, 218新拾73, 219新拾126, 223新
 拾310, 223新拾310, 228新拾1145,
 229新拾1356, 229新拾1356, 237新後
 拾259, 238新後拾758, 239新後拾
 908, 241新後拾1419, 243新続古345,
 245臨永106, 246藤葉36, 247藤葉74,

248藤葉88, 249藤葉125, 250藤葉
229, 251藤葉295, 252藤葉351, 252藤
葉351, 253藤葉359, 254藤葉424,
けり(終止)270三六7(8), 274三六59(60),

〈こ〉

こけによするこひ(寄苔恋) 122,
こころ(心) 205新千1150, 227新拾609, 248
藤葉88, 249藤葉125, 250藤葉229,
270三六7(8), 「雑心」
こころによするこひ(寄心恋) 128,
ごしゅうたあはせ(五首歌合) 191風雅1690,
こじん(古人) 274三六59(60),
こと(事) 198新千178, 199新千197, 200新
千311, 201新千326, 202新千379, 208
新千1379, 213新千1839, 223新拾
310, 251藤葉295, 252藤葉351,
ことに(殊に) 272三六33(34),
ことによするこひ(寄言恋) 129,
ことば(言葉) 200新千311,
こひ(恋) 107, 134, 228新拾1145, 229新拾
1356, 「寄曉恋」「寄朝恋」「不逢恋」「寄
雨恋」「偽恋」「寄犬恋」「恨恋」「寄鏡
恋」「寄風恋」「寄煙恋」「寄苔恋」「寄
心恋」「寄言恋」「寄衣恋」「忍恋」「寄
霜恋」「恨絶恋」「互忍待恋」「誓恋」「寄
燈恋」「寄鳥恋」「寄鷄恋」「寄庭恋」「初
恋」「寄春恋」「寄人恋」「乍臥無実恋」
「寄書恋」「寄冬恋」「寄松恋」「寄山恋」
「寄夕恋」「寄夢恋」「別恋」
こひのうた(恋歌) 179風雅1025, 184風雅
1252, 207新千1309, 210新千1611,
こひのうらみ(恋恨) 106,
こひのおほんうた(恋御歌) 183風雅1240,
こひのけだもの(恋獣) 109,
こひのちぎり(恋契) 105,
こひのつき(恋月) 274三六59(60),
こひのなみだ(恋涙) 104,
こひのはじめ(恋始) 263院六78,
こひのをはり(恋終) 264,
これ(之) 270三六7(8), 275三六69(70)
ころも(衣) 274三六59(60),
ころもによするこひ(寄衣恋) 131,
ころもによするざふ(寄衣雑) 213新千
1839,

〈さ〉

さうりやうにあきをしる(早涼知秋) 223新
拾310,
さきのごんのだいなごん(前権大納言) 271
三六18(17),
さぐる(探る) 他ラ四
さぐり(連用) 205新千1150,
さだいじん(左大臣)「竹林院入道左大臣」
さだうのうへ(左道之上) 275三六69(70),
さとのほととぎす(里時鳥) 199新千197,
さなへ(早苗) 245臨永106,
さはる(障る) 他ラ四
さはら(未然) 272三六33(34),
ざふ(雑) 141,
ざふしき(雑色) 265院六115,
ざふのあかつき(雑暁) 147,
ざふのうた(雑歌) 188風雅1629, 192風雅
1797,
ざふのおほんうた(雑御歌) 190風雅1645,
240新後拾1296,
ざふのけぶり(雑煙) 275三六69(70),
ざふのころも(雑心) 266院六161,
ざふのをちこち(雑遠近) 191風雅1690,
ざふのゆふべ(雑夕) 148,
さらに(更に) 273三六37(38),
さんじふさんねん(三十三年) 204新千904,
さんしゅ(三首) 223新拾310,
さんしゅうた(三首歌) 198新千178, 201新
千326, 202新千379, 205新千1150,
250藤葉229,
さんじゅっしゅ(三十首) 220新拾161, 222
新拾249,
さんじゅっしゅうた(三十首歌) 219新拾
126, 246藤葉36, 247藤葉74, 249藤葉
125, 251藤葉295, 253藤葉359,
さんじゅっしゅおほんうた(三十首御歌)
199新千197, 206新千1151,
さんわう(山王)「日吉山王」

〈し〉

じ(字)「勝字」
しいか(詩歌) 252藤葉351,
しうく(終句) 275三六69(70),
しかるに(而) 273三六37(38),
しきりに(頻に) 271三六18(17),
しぐれ(時雨) 44, 177風雅730, 「朝時雨」

- しちしゃわか(七社和歌) 278,
 しちねん(七年) 216新千2236,
 しっけんさんぜんかい(悉見三千界) 286,
 じつなし(無実)「乍臥無実恋」
 じつなき(連体) 208新千1379
 しのぶ(忍ぶ)他バ四「互忍待恋」
 しのび(連用) 97,
 しのぶ(終止一連体) 44,
 しのぶこひ(忍恋) 94,
 しも(霜) 273三六37(38),
 しもつきじゅういちにち(十一月十一日)
 216新千2236,
 しもによするこひ(寄霜恋) 117,
 しものく(下旬) 272三六33(34),
 しゃとうのゆき(社頭雪) 85,
 じゅっくわい(述懐) 153,
 じゅっくわいのうた(述懐歌) 214新千
 1887,
 しゅひつ(執筆) 270三六7(8),
 しょぞん(所存) 271三六18(17),
 じょや(除夜) 92,
 しる(知る)他ラ四
 しら(未然) 197新千54, 211新千1745,
 212新千1823, 221新拾198, 225新拾
 443, 226新拾560, 232新拾1740, 234
 新拾1815, 235新拾1864, 236新後拾
 63, 242新後拾1433,
 じんぎ(神祇) 195風雅2134,
- 〈す〉
 す 助動詞
 せ(未然) 252藤葉351,
 せ(連用) 184風雅1252, 198新千178, 199
 新千197, 200新千311, 201新千326,
 202新千379, 204新千904, 205新千
 1150, 208新千1379, 209新千1605,
 213新千1839, 214新千1887, 215新千
 1987, 218新拾73, 219新拾126, 223新
 拾310, 229新拾1356, 245臨永106,
 246藤葉36, 247藤葉74, 248藤葉88,
 249藤葉125, 250藤葉229, 251藤葉
 295, 252藤葉351, 253藤葉359, 254藤
 葉424,
 ず 助動詞
 ず(終止) 197新千54, 211新千1745, 212
 新千1823, 221新拾198, 225新拾443,
 226新拾560, 232新拾1740, 234新拾
 1815, 235新拾1864, 236新後拾63,
 242新後拾1433, 273三六37(38),
 ぬ(連体) 272三六33(34),
 ざる(連体) 274三六59(60),
 すがた(姿) 270三六7(8), 274三六59(60),
 「暮煙之姿」
 すすき(薄) 36,
 すべからく(須) 275三六69(70),
 すみがま(炭竈) 91,
- 〈せ〉
 〈そ〉
 そふ(添ふ)他ハ下二
 そふ(終止) 273三六37(38),
 〈た〉
 だい(題) 197新千54, 205新千1150, 211新
 千1745, 212新千1823, 221新拾198,
 225新拾443, 226新拾560, 232新拾
 1740, 234新拾1815, 235新拾1864,
 236新後拾63, 242新後拾1433,
 たえたるこひ(絶恋) 103,
 たえたるこひをうらむ(恨絶恋) 259,
 たがひにしのびまつこひ(互忍待恋) 97,
 たけ(竹) 137, 156,
 たけがは(竹河) 164,
 たなばた(七夕) 32,
 たなばたのちぎりひさし(七夕契久) 201新
 千326,
 たのいへ(田家) 151,
 たのいへのゆき(田家雪) 83,
 たび(旅) 140,
 たびのやどのゆめ(旅宿夢) 260,
 たまふ(給)他ハ四
 たまは(未然) 204新千904,
 たまう(連用) 184風雅1252, 198新千
 178, 199新千197, 200新千311, 201新
 千326, 202新千379, 205新千1150,
 208新千1379, 209新千1605, 213新千
 1839, 214新千1887, 215新千1987,
 218新拾73, 219新拾126, 223新拾
 310, 229新拾1356, 245臨永106, 246
 藤葉36, 247藤葉74, 248藤葉88, 249
 藤葉125, 250藤葉229, 251藤葉295,

252藤葉351, 253藤葉359, 254藤葉
424,

〈ち〉

ちかふこひ (誓恋) 100,
ちぎり (契)「恋契」
ちくりんるんにふだうさだいじん (竹林院入
道左大臣) 204新千904,
ちやうよう (重陽) 273三六37 (38),
ちやうわにねん (貞和二年) 201新千326,
223新拾310, 239新後拾908,
ちやうわ (貞和) 228新拾1145, 229新拾
1356, 237新後拾259, 238新後拾758,
241新後拾1419, 243新続古345, 244新
続古635,
ちやうわのひやくしゅうた (貞和百首歌)
215新千1987,
ちよくしよ (勅書) 216新千2236,

〈つ〉

ついで (序) 204新千904, 205新千1150, 216
新千2236, 223新拾310, 228新拾
1145, 229新拾1356, 237新後拾259,
238新後拾758, 239新後拾908, 241新
後拾1419, 243新続古345, 244新続古
635, 250藤葉229,
つかうまつる (仕うまつる) 自ラ四
つかうまつり (連用) 205新千1150,
つき (月) 42, 272三六33 (34), 「恋月」「夏
月」「冬月」「山中月」
つきやまをいづ (月出山) 202新千379,
つく (付く) 他カ下二
つけ (未然一連用) 270三六7 (8), 273
三六37 (38),
つま (棲) 200新千311,

〈て〉

て 接続助詞 204新千904, 205新千1150,
216新千2236, 270三六7 (8), 270
三六7 (8), 271三六18 (17), 272
三六33 (34),
てうばう (眺望)「海辺眺望」
でんれふぎよほ (畋獵漁捕) 285,

〈と〉

と 格助詞 198新千178, 199新千197, 200

新千311, 201新千326, 202新千379,
208, 213, 223新拾310, 251藤葉295,
252藤葉351,

とき (時) 198新千178, 201新千326, 202新
千379, 205新千1150, 209新千1605,
213新千1839, 215新千1987, 252藤葉
351,

ところ (所) 272三六33 (34),

とて 連語 (格一接続) 184風雅1252, 214新
千1887, 218新拾73, 229新拾1356,

ととのほる (整る) 自ラ四

ととのほり (連用) 270三六7 (8),

ともし (照射) 21,

ともしびによするこひ (寄燈恋) 132,

とり (鳥)「雪中鳥」

とりによするこひ (寄鳥恋) 124,

〈な〉

ないし (内侍) 204新千904,

なか (中) 167風雅89, 168風雅129, 170風雅
266, 171風雅293, 173風雅471, 174風
雅511, 175風雅579, 178風雅880, 179
風雅1025, 180風雅1121, 182風雅
1190, 183風雅1240, 186風雅1376,
187風雅1608, 188風雅1629, 192風雅
1797, 193風雅1807, 199新千197, 200
新千311, 206新千1151, 207新千
1309, 210新千1611, 219新拾126, 220
新拾161, 222新拾249, 224新拾351,
230新拾1544, 231新拾1586, 240新後
拾1296, 246藤葉36,

「雪中懐旧」「雪中獸」「雪中鳥」「山中月」

なかぞら (中空) 272三六33 (34),

なし (無し)

なく (連用) 272三六33 (34),

なす (為す) 他サ変 271三六18 (17), 275
三六69 (70),

なつ (夏) 16,

なつのあめ (夏雨) 271三六18 (17),

なつのおほんうた (夏御歌) 172風雅356,

なつにつき (夏月) 20,

なつのはる (夏昼) 17,

なつのはる (夏夜) 19,

なつのはる (夏夜) 19,

など 助詞 216新千2236, 272三六33(34),

なほ (猶) 271三六18 (17),

なみだ(涙)「恋涙」

なり 助動詞

なる(連体) 271三六18(17),

<に>

に 格助詞 167風雅89, 168風雅129, 169風雅176, 170風雅266, 171風雅293, 172風雅356, 173風雅471, 174風雅511, 175風雅579, 176風雅646, 178風雅880, 179風雅1025, 180風雅1121, 181風雅1179, 182風雅1190, 183風雅1240, 185風雅1328, 186風雅1376, 187風雅1608, 188風雅1629, 190風雅1645, 191風雅1690, 192風雅1797, 193風雅1807, 196風雅2135, 199新千197, 200新千311, 204新千904, 204新千904, 205新千1150, 206新千1151, 207新千1309, 209新千1605, 210新千1611, 216新千2236, 216新千2236, 219新拾126, 220新拾161, 222新拾249, 223新拾310, 224新拾351, 228新拾1145, 229新拾1356, 230新拾1544, 231新拾1586, 237新後拾259, 238新後拾758, 239新後拾908, 240新後拾1296, 241新後拾1419, 243新続古345, 244新続古635, 246藤葉36, 247藤葉74, 249藤葉125, 250藤葉229, 251藤葉295, 253藤葉359, 254藤葉424, 270三六7(8), 270三六7(8), 271三六18(17), 272三六33(34),

にて 助詞 200新千311,

には(庭) 271三六18(17),

にはによするこひ(寄庭恋) 121,

にはとりによするこひ(寄鶏恋) 123,

にふだう(入道)「竹林院入道左大臣」

<ぬ>

ぬ 助動詞

に(連用)270三六7(8), 274三六59(60),

ぬすむ(盗む) 他マ四

ぬすめ(已然) 274三六59(60),

<ね>

<の>

の 格助詞 161, 167風雅89, 168風雅129, 170風雅266, 171風雅293, 173風雅

471, 174風雅511, 175風雅579, 178風雅880, 179風雅1025, 180風雅1121, 182風雅1190, 183風雅1240, 186風雅1376, 187風雅1608, 188風雅1629, 192風雅1797, 193風雅1807, 200新千311, 200新千311, 200新千311, 204新千904, 204新千904, 204新千904, 204新千904, 204新千904, 204新千904, 206新千1151, 207新千1309, 210新千1611, 216新千2236, 216新千2236, 216新千2236, 217新拾2, 217新拾2, 218新拾73, 220新拾161, 220新拾161, 222新拾249, 222新拾249, 223新拾310, 224新拾351, 224新拾351, 228新拾1145, 228新拾1145, 228新拾1145, 229新拾1356, 229新拾1356, 229新拾1356, 230新拾1544, 230新拾1544, 231新拾1586, 231新拾1586, 237新後拾259, 237新後拾259, 238新後拾758, 238新後拾758, 239新後拾908, 241新後拾1419, 241新後拾1419, 243新続古345, 243新続古345, 244新続古635, 244新続古635, 248藤葉88, 271三六18(17), 272三六33(34), 272三六33(34), 272三六33(34), 273三六37(38), 273三六37(38), 274三六59(60), 274三六59(60),

の(野) 273三六37(38),

ののほかのゆき(野外雪) 258,

ののゆき(野雪) 79,

のち(後) 216新千2236, 「雨後雪」

<は>

はうじ(法事) 204新千904,

はうしくどくほん(法師功德品)「妙法蓮華經法師功德品」

はうらく(法楽)「謹奉法楽」

はかなし(儂し)

はかなき(連体) 159,

はぎ(萩) 34,

はし(橋) 139,

はじめ(始) 217新拾2, 「恋始」

はつあき(初秋) 25,

はつきじふごや(八月十五夜) 202新千379, 205新千1150, 250藤葉229,

はつこひ(初恋) 93,

はな (花) 11, 「朝見花」
 はなぞのみん (花園院) 216新千2236,
 はなはだ (甚だ, 太) 270三六7 (8), 275
 三六69 (70),
 はべり (侍り) 自ラ変
 はべり (連用一終止) 270三六7 (8),
 271三六18 (17), 272三六33 (34),
 274三六59 (60),
 はべる (連体) 270三六7 (8), 271三六
 18 (17), 272三六33 (34), 274三六59
 (60),
 はる (春) 5, 217新拾2, 230新拾1544,
 248藤葉88, 「山家春興」
 はるかぜ (春風) 270,
 はるのうた (春歌) 167風雅89,
 はるさめ (春雨) 6,
 はるによするこひ (春寄恋) 110,

<ひ>

ひ (日) 「冬日」
 ひえさんわう (日吉山王) 278,
 ひさし (久し) 「七夕契久」
 ひだり (左) 273三六37 (38), 273三六37 (38),
 ひだりのうた (左歌) 270三六7 (8), 272
 三六33 (34), 274三六59 (60),
 ひとによするこひ (寄人恋) 126,
 ひとびと (人々) 205新千1150,
 ひゃうそくしゃうめつ (病即消滅) 287,
 ひやくしゆ (百首) 228新拾1145, 229新拾
 1356, 237新後拾259, 238新後拾758,
 239新後拾908, 241新後拾1419, 243新
 続古345, 244新続古635,
 ひやくしゆおほんうた (百首御歌) 196風雅
 2135,
 ひやくしゆうた (百首歌) 168風雅129, 169
 風雅176, 170風雅266, 171風雅293,
 173風雅471, 174風雅511, 175風雅
 579, 180風雅1121, 181風雅1179, 182
 風雅1190, 185風雅1328, 186風雅
 1376, 193風雅1807, 「貞和百首歌」
 ひる (昼) 「夏昼」

<ふ>

ふかし (深し)
 ふかき (連用) 270三六7 (8),
 ふく (吹く) 他カ四

ふく (終止一連体) 200新千311,
 ふしながらじつなきこひ (乍臥無実恋) 208
 新千1379,
 ふぜい (風情) 274三六59 (60),
 ふぢ (藤) 「池上藤」
 ふぢばかま (藤袴) 163,
 ふぢはらのあそん (藤原朝臣) 271三六18 (17),
 ふづきなのか (七月七日) 201新千326, 223
 新拾310,
 ふぼしよせいがん (父母所生眼) 286,
 ふみによするこひ (寄書恋) 133,
 ふゆ (冬) 46,
 ふゆくさ (冬草) 57,
 ふゆによするこひ (寄冬恋) 111,
 ふゆのあかつき (冬暁) 58,
 ふゆのあけぼの (冬曙) 61,
 ふゆのあした (冬朝) 62,
 ふゆのうた (冬歌) 178風雅880, 187風雅
 1608,
 ふゆのかぜ (冬風) 262院六52,
 ふゆのくも (冬雲) 261院六30,
 ふゆのつき (冬月) 67,
 ふゆのひ (冬日) 273三六37 (38),
 ふゆのゆふべ (冬夕) 64, 252藤葉351,,
 ふゆのよる (冬夜) 66,
 ふらうふし (不老不死) 287,
 ふるし (古し)
 ふるき (連体) 200新千311,
 ぶんわさんねん (文和三年) 216新千2236,

<へ>

べし 助動詞
 べき (連体) 271三六18 (17), 275三六69 (70),
 べし (終止) 273三六37 (38),

<ほ>

ほえんのすがた (暮煙之姿) 275三六69 (70),
 ほか (外) 「野外雪」
 ほたる (螢) 24, 162,
 ほととぎす (郭公) 14, 「夕聞郭公」 「里時鳥」
 ほんじぼん (本事品) 「妙法蓮華經藥王菩薩
 本事品」

<ま>

まうす (申す) 他サ四
 まうす (終止一連体) 270三六7 (8),

271三六18（17），
 まつ（待つ）他夕四「互忍待恋」
 まつこひ（待恋）96，
 まつによするこひ（寄松恋）120，
 まつのゆき（松雪）86，
 まへ（前）「風前雪」
 まんざ（満座）270三六7（8），

〈み〉
 みぎ（右）271三六18（17），275三六69（70），
 みぎのうた（右歌）270，
 みぐるし（見苦し）
 みぐるしく（連用）274三六59（60），
 みつか（三日）198，
 みどころ（見所）272三六33（34），
 みゃうはうれんげきやうあんらくぎやうほん
 （妙法蓮華經安樂行品）285，
 みゃうはうれんげきやうはうしくどくほん
 （妙法蓮華經法師功德品）286，
 みゃうはうれんげきやうやくわうぼさつほん
 じほん（妙法蓮華經藥王菩薩本事品）
 287，
 みる（見る）他マ上一「朝見花」

〈む〉
 むげに（無下に）272三六33（34），
 むし（虫）41，
 むねん（無念）273三六37（38），
 むらくも（群雲）272三六33（34），
 むらさめ（村雨）271三六18（17），

〈め〉
 めす（召す）他サ四
 めさ（未然）215新千1987，223新拾310，
 238新後拾758，241新後拾1419，243新
 続古345，244新続古635，
 めし（連用）228新拾1145，229新拾1356，
 237新後拾259，239新後拾908，
 めづらし（珍し）
 めづらしく（連用）271三六18（17），
 めり 助動詞
 めり（終止）272三六33（34），

〈も〉
 も 係助詞 272三六33（34），272三六33（34），
 もつて（以て）271三六18（17），275三六69（70），

275三六69（70），
 もみぢのが（紅葉賀）161，
 もりのゆき（杜雪）81，

〈や〉
 や 係助詞 271三六18（17），
 やくわうぼさつほんじほん（藥王菩薩本事品）
 「妙法蓮華經藥王菩薩本事品」
 やなぎ（柳）4，
 やど（宿）「旅宿夢」
 やどりぎ（宿木）165，
 やま（山）157，「月出山」
 やまが（山家）149，
 やまがのはるのきやう（山家春興）267，
 やまがのゆき（山家雪）82，
 やまなか（山中）216新千2236，
 やまによするこひ（寄山恋）119，
 やまのなかのつき（山中月）257，
 やまのゆき（山雪）78，
 やよひ（三月）198新千178，

〈ゆ〉
 ゆき（雪）69，「曉雪」「朝雪」「雨後雪」「浦
 雪」「風前雪」「閑居雪」「社頭雪」「田
 家雪」「野雪」「松雪」「杜雪」「山家雪」
 「山雪」「夜雪」
 ゆきのなかのかいきゆう（雪中懷旧）89，
 ゆきのなかのけだもの（雪中獸）88，
 ゆきのなかのとりに（雪中鳥）87，
 ゆふだち（夕立）22，「遠近夕立」
 ゆふべ「秋夕」「雑夕」「夏夕」「冬夕」「寄
 夕恋」
 ゆふべにきくほととぎす（夕聞郭公）256，
 ゆふべによするこひ（寄夕恋）114，
 ゆめ（夢）155，「旅宿夢」
 ゆめによするこひ（寄夢恋）127，

〈よ〉
 よし（由）270三六7（8），271三六18（17），
 274三六59（60），
 よし（良し）
 よく（連用）270三六7（8），
 よす（寄す）他サ下二「寄曉恋」「寄朝恋」「寄
 雨恋」「寄犬恋」「寄鏡恋」「寄風恋」「寄
 煙恋」「寄苔恋」「寄心恋」「寄言恋」「寄
 衣恋」「寄霜恋」「寄燈恋」「寄鳥恋」「寄

庭恋」「寄鶉恋」「寄春恋」「寄人恋」「寄書恋」「寄冬恋」「寄松恋」「寄山恋」「寄夕恋」「寄夢恋」

よそ (他所) 272三六33 (34),

よむ (詠む) 他マ四

よま (未然) 184風雅1252, 198新千178, 199新千197, 200新千311, 201新千326, 202新千379, 205新千1150, 208新千1379, 209新千1605, 213新千1839, 214新千1887, 215新千1987, 218新拾73, 219新拾126, 223新拾310, 229新拾1356, 245臨 永106, 246藤葉36, 247藤葉74, 248藤葉88, 249藤葉125, 250藤葉229, 251藤葉295, 252藤葉351, 253藤葉359, 254藤葉424,

より 格助詞 216新千2236,

よる (夜)「夏夜」「冬夜」

よるのゆき (夜雪) 76,

〈ら〉

らる 助動詞

られ (連用) 198新千178, 201新千326, 202新千379, 205新千1150, 250藤葉229, 252藤葉351,

〈り〉

り 助動詞

る (連体) 198新千178, 199新千197, 200新千311, 201新千326, 208新千1379, 274三六59 (60),

りゃくおうさんねん (暦応三年) 202新千379, 205新千1150,

〈る〉

る 助動詞

れ (連用) 215新千1987, 223新拾310, 238新後拾758, 241新後拾1419, 243新続古345, 244新続古635,

〈れ〉

れいき (冷輝) 273三六37 (38),

〈ろ〉

〈わ〉

わか (和歌)「七社和歌」

わかるるこひ (別恋) 98,

わづかに (僅かに, 纒) 273三六37 (38), 274三六59 (60),

〈る〉

るりさつがい (為利殺害) 285,

るん (院) 204新千904,

〈を〉

を 格助詞 166風雅20, 177風雅730, 191風雅1690, 194風雅2112, 195風雅2134, 198新千178, 199新千197, 200新千311, 201新千326, 202新千379, 205新千1150, 205新千1150, 208新千1379, 213新千1839, 223新拾310, 227新拾609, 245臨永106, 248藤葉88, 249藤葉125, 250藤葉229, 251藤葉295, 252藤葉351, 252藤葉351, 270三六7 (8), 270三六7 (8), 271三六18 (17), 273三六37 (38), 274三六59 (60), 274三六59 (60), 274三六59 (60), 275三六69 (70),

をぎ (荻) 35,

をちこち (遠近)「雑遠近」

をちこちのゆふだち (遠近夕立) 23,

をはり (終はり)「恋終」

〈ん〉